



2026年の意向

教皇による祈りの世界ネットワ

1月

教皇の意向： みことばによる祈り

みことばによる祈りが生活の糧となり、また私たちの共同体の希望の源となって、互いを大切にしながら使命に生きる教会を築くことができますように。

2月

教皇の意向： 難病の子どもたち

難病の子どもたちとその家族が、必要な医療と支援を受けることができますように。そして、力と希望を失うことがありませんように。

3月

教皇の意向： 武装解除と平和

各国が有効な武装解除、特に核武装の解除に向けて動き、世界の指導者たちが暴力ではなく対話へと歩みを進めていきますように。

4月

教皇の意向： 危機に瀕する司祭

召命の危機にある司祭が、必要な霊的同伴を見出しますように。そして、教会共同体が理解と祈りをもって司祭を支えることができますように。

5月

教皇の意向： すべての人に食べ物を

大規模な生産者から一人ひとりの消費者に至るまで、すべての人が食品ロスの削減に取り組むことによって、誰もが良質な食べ物にあずかることができますように。

6月

教皇の意向： スポーツの価値

スポーツが、国家間や異文化間の平和、出会い、対話の道具となり、尊厳、連帯、個人の成長といった価値を高めるものとなりますように。

7月

教皇の意向： 人命の尊重

人生のあらゆる場面において人命が尊重され、保障されますように。そして、人命は神からの賜物であることに気づくことができますように。

8月

教皇の意向： 都会での福音宣教

匿名性と孤独で特徴づけられる大都会で、福音を宣べ伝える新しい道を見出し、共同体を築くための創造的な方法を探し出すことができますように。

9月

教皇の意向： 水資源への配慮

重要な水資源が適切かつ持続可能に管理されて、すべての人が公平にその恩恵にあずかることができますように。

10月

教皇の意向： 心の健康についての司牧

すべての教会で心の健康についての司牧が確立され、心の病から生じる偏見や差別を克服する助けとなりますように。

11月

教皇の意向： 富のふさわしい活用

富がふさわしい方法で活用され、利己主義への誘いに屈することなく、常に共通善や貧しい人々との連帯が推進されますように。

12月

教皇の意向： 一人親家庭

母親や父親を失った家庭が、教会の中での支援や寄り添いを見出し、困難に遭遇した時には信仰によって助けられ、力づけられますように。